





2022年2月10日

各 位

上場会社名 原田工業株式会社 代表者 代表取締役社長 三宅 康晴 (コード番号 6904 東証第一部) 問合せ先責任者 執行役員 上條 洋一 (TEL 03-3765-4321)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、2021年5月14日に公表いたしました2022年3月期の通期連結業績予想及び配当予想を修正いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 2022 年 3 月期 通期連結業績予想の修正(2021 年 4 月 1 日~2022 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円	百万円	百万円	百万円	円銭
	40, 000	1,600	1,600	1, 200	55. 17
今回修正予想(B)	36, 000	△960	△800	△950	△43. 68
増減額(B-A)	△4,000	△2, 560	△2, 400	△2, 150	_
増減率(%)	△10.0		_		_
(ご参考) 前期実績 (2021年3月期)	34, 705	△1,089	△1,118	△1, 293	△59. 46

(2) 業績予想修正の理由

売上高は、世界的な半導体不足や、海上物流の逼迫、また新型コロナウイルス感染症再拡大に伴う部品不足等の供給制約により、世界の自動車生産台数が当初の想定より大幅に減産推移していることから、前期実績は上回るものの、前回予想を下回る見通しとなりました。

利益面につきましては、売上高の減少に伴う収益への影響を最小限に抑えるべく、事業活動に係る全てのコストに関し、抜本的な構造の改革を推進し、車載アンテナビジネスの収益力向上に取り組んでおります。しかしながら、材料費高騰の影響が極めて大きく、またアセアン地域での新型コロナウイルス感染再拡大や、サプライチェーンの混乱を主因とした不可抗力の航空機等による輸送費が多額に発生しております。加えて、当期末までは引き続き、不可抗力の航空機等による輸送費の発生が見込まれること等を鑑み、前回予想を下回ると予想し、上記のとおり、修正いたしました。なお、2023年3月期については、航空機等による輸送費は大幅に減少する見込みであります。

2. 配当予想の修正について

(1) 2022 年 3 月期 配当予想の修正

	年間配当金					
	第2四半期末	期末	合計			
前 回 予 想 (2021年5月14日発表)		7円 50 銭	7円50銭			
今回修正予想		5円00銭	5円00銭			
当 期 実 績	0円00銭					
前 期 実 績(2021年3月期)	0円00銭	5円00銭	5円00銭			

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様に対する安定した配当を維持するとともに、市場拡大のための新製品開発に向けての研究開発、また、グローバル企業としてグループ各社の機能を最大限発揮させるための積極的な設備投資を行い、企業体質をより強固なものとして安定的な利益を確保し、業績に裏付けされた成果の配分を行うこととし、年一回の配当を基本方針としております。

2022年3月期の期末配当予想につきましては、上記の方針や通期連結業績予想の修正、また当期末まで引き続いて発生が見込まれる不可抗力の航空機等による輸送費が2023年3月期には大幅に減少する見込みであること等を総合的に勘案し、上記のとおり修正いたしました。

本件につきましては、2022年6月下旬開催予定の定時株主総会に付議する予定であります。

3. 株主優待制度について

当社は、株主の皆様の日頃からのご支援に感謝し、株主還元方法を多様化するとともに、より多くの方々に当社株式を中長期的に保有していただくことを目的として、株主優待制度を導入しております。こうした方針に則り、本年度の株主優待も従来と同様に実施いたします。

(注)本資料に記載の予想値は、発表日現在入手可能な情報に基づき作成しております。実際の業績等は、今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があります。

以上